美術随想 (4)

塑造の手(その1)

大和文華館館長 石澤正男

吉祥天女像 法隆寺金堂

ここに掲載した写真は法隆寺所蔵の塑造吉祥天立像の上半身であります。今日はこの像にまつわる話を書き残しておくことにしました。それは単に備忘というだけではなく、大事な、未解決な問題を将来に残しており、しかもそのことについてほとんど知っている人がいないのと、私が直接話した数人の人々もまるで無関心らしい、少くとも私にはそうとしか見えないので、更めてそれらの人々の関心も喚起したい念願から、この一文を誌しておくことにしたのであります。

話の起りはもう大分古く、昭和11年に遡ります。当時私は東京美術学校(現在の東京芸術大学美術学部)の講師で兼ねて同校文庫課の主任を勤めていました。同校には開校準備期間中から蒐集された優秀な古美術品、例えば絵画では奈良時代の過古現在因果経巻第四の下、宋代の優れた羅漢図2幅、元浄瑠璃寺吉祥天像厨子の扉及び背面板合せて7面に描かれた鎌倉初期の貴重な絵画や小野雪見御幸絵詞等々の得がたい名品が沢山あり、絵画以外の美術各分野にわたっても枚挙に遑のないほど優れた作品が豊富に網羅されています。これは美術教育に必要な参考資料として集められたものでありますが、学校では古美術品も新作美術品も一括して標本と称していました。今ではこの名称は廃止しましたが、名称はともかく、さすがに天才的、偉大な美術指導者であった初代校長岡倉天心のもとに明治22年(1889年)の創立当初には黒川眞頼、今泉雄作のような該博な知識と卓越した鑑識眼を具備した学者がいたので、あれほど立派な美術品の蒐集が出来たのは不思議ではありません。特にその当時は欧米文化一辺倒の余波を強く受けていた時代ですから鑑識眼と金さえあれば名品を集めることは決してむづかしいことではなかったと想像されます。天心が当局の忌諱に触れて明治31年(1898年)3月、校長の地位を追われ、その処分を不当として全教授・助教授が連袂辞職するという有名な学校騒動が起きましたが、この大騒動の納ったあと明治34年(1901年)8月から昭和7年(1932年)3月末までの長期間(これは恐らく直轄学校長としての最高記録ではないかと思いますが)東京美術学校長を勤められたのが故正木直彦先生でした。

昭和11年の初秋のある日、退官後名誉教授であった正木先生が美校に来られ、私をだれもいない校庭に誘い出されて次のようなお頼みをされました。それは当時の法隆寺管長佐伯定胤大僧正が非常に熱心に嘗て法隆寺什物であったもので明治以後諸方へ散逸してしまったのを出来うる限り寺へ回収しようとしておられる。美校には五重塔の塑造群像の中、涅槃群像に属する羅漢坐像のあることはよく知られているが、昨年完了した食堂解体修理の副産物として、従来室町時代の観音立像とされていた仏像が表面にべたべた貼りつけられていた紙を剝がしていったところ、非常に傷んではいるが堂々たる天平時代の塑造の吉祥天立像であることが発見された。そこで早速奈良の彫刻修理専門の美術院の手で欠損していた裳の末端全部と両手その他を補修してもらい、ついこの間(正しくは昭和11年9月18日付)国宝に指定されたが、最近大川逞一君の話によると、この吉祥天さんのお手に間違いのない塑造の手が美校にあるという。そこで是非羅漢坐像とこの手をなんとかして寺へ返還してもらえるように尽力していたゞきたい。こういうご依頼を正木先生が定胤師から受けられたので、「君、なんとか校長や会計とも相談して老師の切なるご希望を叶えてあげてくれないか」と私にご依頼があったのでした。定胤師は生涯戒律を守られて肉食妻帯されず、また稀に見る学僧であり、純粋に信仰一筋に生き抜かれた高僧でありました。所用で上京される時は牛込矢来町の正木邸に泊まられるのを常としておられましたが、時には荻窪の元文部技師の故荻野仲三郎邸にも泊られたそうです。定胤師の食事は完全な精進料理なので、両家とも定胤師の逗留が数日に及ぶとなると両家の主婦は日々の献立に大いに頭を悩まされたようです。これは正木先生の次男で私とは嘗て同僚であった故篤三君から直接聞いた話です。篤三君の話では定胤師の実弟が日本橋の蠣殻町か兜町に住んでおられ、兄上の上京の際には完全なお精進で歓迎するのだそうですが、周辺から漂ってくる生臭い香が生来の菜食者には耐えられず、吐気を催す始末なので、結局親交のある正木、荻野両家が定胤師の定宿となったのだそうです。それにしても定胤師の逗留中は両家とも家族ぐるみお精進を守るので大変だったようです。これからはこんな話はもう二度と聞かれなくなったような気がします。

(以下次号) 48・11・26記

季刊 美のたより No.26
昭和48年12月1日
発行 大和文華館

Copyright ©2007 The Museum Yamatobunkakan. All Rights Reserved.